

【高崎学検定講座】

高崎の山車行事 ～地域の人びとがつくった歴史と民俗～



2024年7月20日（土）

鈴木 英恵
(高崎市教育委員会文化財保護課)

高崎まつりの変遷と山車 （明治３３年＜１９００＞から平成１５年＜２００３＞まで）

西暦	和暦	山車巡行をしたとき	備考
1900	明治33年	市制施行	高崎市が市制を施行
1915	大正４年	御大典（大正天皇の即位大典記念行事）	大正４年の御大典、昭和３年１１月の御大典にかけて山車を持たない町が山車を製作
1927	昭和２年	塚沢村と片岡村が合併	
1926	昭和３年	天皇即位御大典記念	山車：２７台
1939	昭和１４年	戦争のため、昭和２２年まで祭典は中止	
1940	昭和１５年	紀元２６００年祭	
	昭和２０～３０年代	高崎祇園商業祭	
1947	昭和２２年	新憲法施行記念	何台かの山車
1949	昭和２４年	市制５０周年記念事業	多数の山車
1954	昭和２９年	高崎奉納祭	何台かの山車
1955	昭和３０年	五か村合併記念 高崎まつり（新高尾・中川・長野・八幡・豊岡の5村との合併を記念し、高崎まつりを開催）	多数の山車
1955	昭和３０年	高崎商工会議所60周年	多数の山車
1959	昭和３４年	皇太子御成婚記念	何台かの山車
1961	昭和３６年	市制６０周年記念（音楽センター落成記念）	山車：３５台
1966	昭和４１年	市制６５周年記念（白衣観音建立３０年祭）	多数の山車
1970	昭和４５年	市制７０周年記念	山車：３５台
1975	昭和５０年	市制７５周年記念 第１回 高崎ふるさと祭り	市側はオイルショックのため記念行事を中止するように要請したが、市民による手作りのまつりを開催した。観光的、商業的では無い。山車：２３台。
1977	昭和５２年	高崎ふるさと祭りの保存会結成	
第１回～５回までの「高崎ふるさと祭り」は、８月のお盆を中心に実施。第６回以降は、毎年８月第一週の土・日曜日に実施するようになった。各町内の山車行列へは参加自由であった。			
1980	昭和５５年	市制８０周年記念 第６回 高崎ふるさと祭り	山車：３４台
1982	昭和５７年	第８回 高崎ふるさと祭り	
1983	昭和５８年	第９回 高崎ふるさと祭り	山車：２８台
1984	昭和５９年	第１０回 高崎ふるさと祭り	
1985	昭和６０年	高崎まつり（第１１回目のまつり）	高崎まつりから輪番制を導入。東・南地区を１８台、中央・北地区を１８台に分け、毎年交代で山車を出す。
1990	平成２年	市制９０周年記念 高崎まつり	山車：すべての山車
2000	平成１２年	市制１００周年記念 高崎まつり	山車：すべての山車
2003	平成１５年	高崎山車まつり	高崎まつりの一部として高崎山車まつりが加わる

高崎における山車巡行の機会をまとめるにあたり、金井昭 １９９７ 「山車巡行の歴史」『高崎の山車』高崎市（商工観光部観光課）、高崎市史編さん委員会編 ２００４「高崎まつり」（４５６～４５７頁）、「山車と囃子」（５８３～５９５頁）『新編 高崎市史 民俗編』、高崎市史編さん委員会編 ２００４『新編 高崎市史 民俗編』高崎市、高崎市史編さん委員会編 １９９６『高崎市民俗調査報告書第六集 旧市域の祭りと町内会』高崎市を参照した。

高崎における山車の製作年と山車人形

No.	地区名	町名	製作年（西暦）	山車の製作年（和暦）	人形（形態）	
1	南地区	下和田町	1908	明治4 1 年（初代）	牛若丸	
			1934	昭和9 年 1 2 月吉日		
2		石原町下一	1983	昭和5 8 年 1 2 月 3 0 日（二代目）	少那彦名命	
3		石原町下二	1807	古老によると、文化4 年に製作された山車（初代）を大正時代ころまで曳いたとの伝承が残る	彦狭島王	
				1881		明治1 4 年（二代目）
				1989		平成元年 1 2 月 1 0 日（現在）
4		下横町	1931	昭和6 年 1 2 月吉日	天照大神	
5		砂賀町	1914	大正3 年 1 月吉日	恵比寿神	
6		南町	1924	大正1 3 年 1 0 月吉日	楠公	
7		和田町	1922	大正1 1 年8 月吉日	菅公	
8		通町	1912	大正元年 1 0 月吉日	乙姫	
9		新町	1917	大正6 年 1 月吉日	健御名方富命	
10		八島町	1925	大正1 4 年	神功皇后	
11		新田町	1910	明治43 年4 月1 日	浦島太郎	
12	石原町下三	1946	昭和2 1 年	菅原道真		
13	石原町下四	1912～1925	大正時代	小鍛冶		
		1992	平成4 年 山車構造全面改修（現在）			
14	東地区	旭町	1947	昭和22 年5 月1 日	鍾馗	
15		田町四丁目	1922	大正1 1 年 1 月吉日	竜神の舞	
16		山田町	1924	大正13 年10 月19 日	木花開耶姫ノ命	
17		九蔵町	1947	昭和2 2 年5 月吉日	静の舞	
18		羅漢町	1946	昭和2 1 年 1 2 月吉日	大黒天	
19		北通町	1924	大正1 3 年 1 月吉日	新田義貞	
20		高砂町	1897～1906	明治3 0 年代ごろ（初代）	神武天皇	
			1925	大正1 4 年 1 0 月（二代目）		
21	北地区	並榎町	1915	大正4 年 1 2 月（初代）	鏡獅子	
1947			昭和2 2 年 1 月			
22		末広町	1936	昭和11 年8 月8 日	静御前	
23		請地町	1948	昭和2 3 年7 月吉日	羽衣の天女	
24		住吉町	1915	大正4 年ごろ（初代）	蘭陵王	
25		相生町	1923	大正1 2 年 1 1 月	鎮西八郎為朝公	
			1924	大正1 3 年 1 月吉日（現在）		
26		本町一丁目	1872	明治5 年ごろ（初代）	猩々	
			1921	大正1 0 年ごろ（二代目）		
			1928	昭和3 年 1 0 月吉日（現在）		
27		本町二丁目	1913	大正2 年 1 0 月吉日	弁財天	
28		本町三丁目	1918	大正7 年 3 月吉日	石橋の舞	
29	成田町	1933	昭和8 年 3 月吉日	素盞鳴尊		
30	中央地区	赤坂町	1868以降	明治初期（初代）	猿田彦大神	
1912以降			大正初期（二代目）			
1923			大正1 2 年 3 月（現在）			
31		常盤町	1917	大正6 年（初代）	牛若丸	
1982			昭和5 7 年 1 0 月 2 5 日（現在）			
32		歌川町	1924	大正1 3 年 1 0 月	藤原定家	
33		並榎町坂下	1918	大正7 年（初代）	三条小鍛冶宗近	
			1928	昭和3 年（現在）		
34		柳川町	1907～1915	明治4 0 年代より大正4 年ごろ（初代）	日本武尊 倭建命	
			1924	大正1 3 年（改築）		
35		新紺屋町	1924	大正1 3 年 1 0 月	三番叟	
36		寄合町	1924	大正1 3 年吉日	弁慶 勸進帳	
37		田町（一・二・三）	1915	大正1 2 年 7 月	神功皇后	
38		連雀町	1949	昭和2 4 年 4 月	桃太郎	

各町内別に山車の製作年、山車人形についてまとめた。表の作成にあたって高崎市史編さん委員会編 2 0 0 4 「高崎まつり」『新編 高崎市史 民俗編』高崎市、および金井昭 1 9 9 7 「山車巡行の歴史」『高崎の山車』高崎市（商工観光部観光課）を参照した。